



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

95.7.24 No. 4228

「普通の国」路線を推進する「防衛計画大綱」の見直し

侵略治安部隊化は自衛隊

「戦後五〇年」攻撃の二環なす

「防衛計画大綱」の見直し

防衛庁は四月八日、「防衛計画の大綱」を二〇年ぶりに見なおすことを正式に表明した。

この「新大綱」の防衛庁案は、「今後の防衛計画の基本的考え方」は、六月九日の「安全保障会議」から政府レベルの検討に着手、八月にも「新大綱」の骨格を固め、年末の来年度予算案の編成までに新たな大綱を閣議決定する方針としている。

また六月三〇日には、一九九五年版の「日本の防衛」(防衛白書)を閣議に報告し了承されている。

つまり日本の「防衛政策」は今年末に向けて「大きな節目」を迎えることになる。まさに「戦後五〇年」攻撃の一環として、自衛隊の「新大綱」が策定されようとしているのだと見なければならぬ。

防衛力の質的改善を提唱!

白書は、「新大綱」を先取りするものとして、自衛隊の部隊再編や再配置を含め、「防衛全般を対象に幅広く検討する」とことを明言。「効率的防衛力」を目指す「質的改善」を打ち出し、戦闘部隊のハイテク化・近代化、「多様な危険」への対応を提唱。強力な防衛力(軍事力)が必要だとしている。

そしてその背景として、「冷戦後も諸問題が未解決のまま残るアジア」など、国際情勢を「

先行き不透明」と分析。特に朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の核疑惑や弾道ミサイルの長射程化が、東アジア全域の安全保障に重大な不安定要因と第一級の危機だとしている。また中国の国防予算増額と南沙諸島など海軍の活動範囲拡大、極東ロシア軍の戦力蓄積に対して注目、懸念を表明している。

朝鮮侵略戦争を視野に据える

「新大綱」の基本的考え方!

つまり「世界的な規模での武力紛争の可能性は低下」、「大国の調整力の低下で、地域紛争の発生や大量破壊兵器、軍事関連技術の拡散などの新たな危険をいかにコントロールするかに重点が移った」と分析し、アメリカの没落という認識から、東アジアでの軍事的主導権を握ることを表明し、対テロ作戦、災害出動、治安出動、PKO派兵、シーレーン防衛などに重点を移し、日米安保については、「周辺地域の安定に寄与する」と新たに位置づけるなど、明確に朝鮮半島を視野にいれていることは明白なのだ。

部隊の災害時自主派遣を明記!

さらに六月二三日には、「沖縄戦終結五十周年記念・沖縄全戦没者追悼式」で訪れた那覇市において記者会見した村山は、来年度の防衛予算に、「自衛隊の災害派遣装備充実」に取り組むことを明らかにし、そして七月一八日に決定した政府の、「

新しい防災基本計画」では、(情報収集や都道府県との通信途絶時に)部隊を「自主派遣」したり、自治体との日常的な連携強化など、自衛隊の役割重視を打ち出すなど、三二年ぶりに抜本改定した。

治安部隊として登場する自衛隊

しかし「阪神大震災」時に特微的に現われたように、自衛隊が銀行や主要行政機関を押さええることを優先し、神戸民衆の救援にシフトしていなかったなど、その派遣役割の第一義が「治安対策」であったこと。自衛隊が「防災」の名の下に治安部隊となつて、「戒厳体制」を敷いていくことの先触れとなる危険性は、より増すこととなる。まさにきな臭い動きが着々と

進められている。

戦後五〇年を問う八・一五集会

の決定的意義!総決起しよう!

われわれは、反戦・反核闘争の大高揚を勝ちとるために、そして「戦後五〇年」攻撃の粉碎に向け、今夏八・六広島、八・九長崎大行動から、戦後五〇年を問う八・一五集会に総決起しよう!

「普通の国」路線を推進する、「防衛大綱の見直し」軍事大國化、侵略国家化、治安国家化切迫する朝鮮侵略戦争参戦国家化の阻止、核武装化を粉碎する闘いに起とう! 全力で労働運動の新たな潮流をさらに大きく形成しよう!

「戦後五〇年を問う八・一五労働者・市民の集い」

日時 一九九五年八月二五日(火) 一四時より

場所 東京・杉並公会堂(JR荻窪駅徒歩五分)

内容 【第一部】歌・演奏・コント・詩の朗読

【第二部】講演・パネルディスカッション

【第三部】展示・映画

指定列車 千葉駅四番線 二時二五分発快速最後部